

世界遺産登録 再チャレンジ

平泉の文化遺産は、6月の世界遺産登録を目指しています。このコーナーでは、登録に向けた取り組み状況についてお知らせします。

第25回 文化庁長官と前ユネスコ事務局長の来町

昨年はユネスコへの推薦書提出、そしてイコモス現地調査と世界遺産登録の取り組みが大きく前進しました。12月上旬にはイコモス内部で世界遺産パネルが開催されており、「平泉」ははじめ各国からの推薦資産が審査されています。その後、イコモスからさらに詳細な情報が求められることも想定されていたわけですが、現段階(1月27日現在)まで要請はありません。

推薦書の内容と現地調査により、イコモス内では「平泉」の価値が正しく評価されたとも考えられますが、5月の勧告まで楽観は許されません。

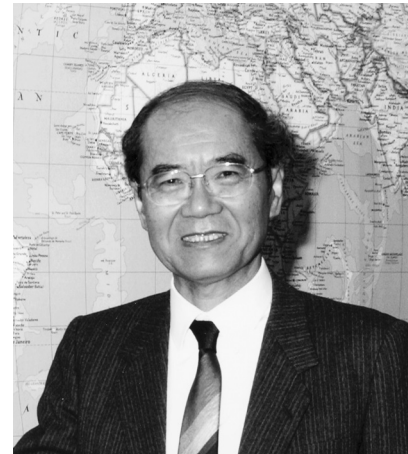
1月28日には、昨年夏に文化庁長官に就任した近藤誠一氏が「平泉」の資産を視察しました。

近藤長官は3年前の世界遺産委員会の際、ユネスコ日本政府代表部特命全権大使として尽力された方です。今回の再推薦でも重要なポジションであり、今後の活躍が期待されます。

また来月3日には、パリのユネスコ本部で長年にわたって事務局長を務められた松浦晃一郎氏が世界遺産講演会の講師として来町し、資産を視察します。

ユネスコ事務局長在任中の松浦氏は世界遺産登録制度の改善や「無形遺産の保護に関する条約」の発効

に尽力されました。今回の講演会では、登録する側からの視点で、世界遺産の現状と将来についての貴重なお話しや、平泉の文化遺産についての率直な意見が述べられることと思われます。



講演会で講師を務める前ユネスコ事務局長の松浦晃一郎氏

第12回世界遺産講演会

日時…3月3日(木) 18:00~
場所…ホテル武蔵坊
講師…松浦晃一郎氏(前ユネスコ事務局長)

皆様のご参加をお待ちしています。

平泉を掘る

折敷は木製のお盆で、椀や皿を置いて使います。絵巻物には、配ぜんや宴会の様子のほか、折敷も描かれています。平泉で見つかった一般的な形は長方形で、縁に細い板を巡らせていて大きさは30センチくらいの物が多いようです。完全な形で見つかることはまれで、ほとんどの物が壊れていたり、割ってちゅう木などに転用した形で見つかっています。

柳之御所遺跡では、墨で文字や絵が描かれたものが見つかっています。「人々給絹日記」という表題を持つ折敷はその代表的な物です。衣装の給付リストと思われる、衣装の種類や数、人物名などが書かれた重要な資料です。

志羅山遺跡からは、縁板も残るほぼ完全な形のものが見つかっています。縁板は木製のくぎによって止められており、大きさは横は38センチ、縦は27センチほどで刃物の傷や焦げ跡が後ろに付けられています。

発掘最前線⑨4

—重要文化財紹介(その2)「折敷」—



▶柳之御所遺跡から発掘された折敷



▶志羅山遺跡から発掘された折敷



①



③



⑤

まちの宝を守る!!

23年文化財防火訓練



②



④



⑥

①②中尊寺と毛越寺では機敏な動作で放水訓練が行われた③りりしい姿の消防団員④告辞を受ける婦人消防協力隊⑤功労章を受章した消防団員⑥自主防災会による文化財の搬出訓練

「文化財防火デー」にちなんで1月23日、中尊寺と毛越寺で文化財防火訓練が行われました。午前8時40分、中尊寺旧覆堂北側付近で第1火災が、また午前9時30分に毛越寺厨房で第2火災が発生したと想定。演習指令が出されると、町消防団などから約250人が出動し、機敏な動作で建物を水幕で包み込みました。また自主防災会による文化財の搬出訓練など、実戦さながらの消防訓練が繰り広げられました。

訓練終了後には、町営中尊寺第2駐車場と平泉文化史館の両会場で、町消防団の出初式が開かれました。観閲や町長告辞、団長訓示に引き続き、団員の定例表彰などが行われました。表彰された方々は次の通りです。(敬称略)

【町長表彰】
▽功労章(勤続20年) 高橋幸夫(第3分団) 齊藤孝(第4分団) 千葉克彦(同) 武田智幸(第7分団) 千田正幸(同) 佐々木政記(第8分団) 佐藤隆(同) 千葉和義(第9分団) 吉田敬二(同)

▽功績章(勤続15年) 佐々木明(第2分団) 佐々木久人(同) 千葉昭(第3分団) 小野寺武(第4分団) 千葉和正(同) 菊地厚(第8分団)

8分団)
▽勤続章(勤続10年) 千葉武夫(第1分団) 吉積弘行(同) 菅原忠(第5分団) 小野寺博樹(第6分団) 菊地繁幸(同) 春日谷一之(第7分団) 高橋勇一(同) 千葉知義(第8分団)

▽精錬章 伊藤美智男(第1分団) 菅原繁明(同) 千葉芳美(同) 千葉伸一(同) 千葉好浩(同) 阿部哲也(同) 丸山幸一(第8分団) 三浦光生(同) 浅利清廣(同) 小岩芳昭(同) 千葉和宏(同)

【団長表彰】
▽無火災特別表彰(3年以上無火災) 第5分団、第5分隊
▽消防施設管理優良分団 第8分団【努力賞】第9分団

◎文化財防火デー
昭和24年1月26日に現存する世界最古の木造建造物である奈良の法隆寺金堂が炎上し、壁画が焼損しました。これを契機に、翌25年に文化財保護法が制定。1・2月が1年のうち最も火災が発生しやすい時期であることから30年に1月26日を「文化財防火デー」と決めました。